

## 「Dreams Come True～夢を実現するために～」

- 1 日時 平成28年10月4日(火) 5時間目
- 2 学年・学級 2年B組(男子14人 女子16人 計30人)
- 3 単元名 Program 6 「A Work Experience Program」・My Project 5「スピーチをしよう」  
(Sunshine English Course 2 開隆堂)

## 4 本単元を指導するにあたって

本単元での言語材料として、不定詞の名詞的用法、形容詞的用法、副詞的用法を扱う。

内容としては、登場人物たちが自分の職場体験を通して感じたことや学んだ事等を伝え合い、単元末にはそれらの体験と夢とつなげたスピーチをするという場面が設定してある。本校の生徒も、夏季休業中に職場体験をし、「総合的な学習の時間」において自分たちが学んだ事を発表したところである。それらを生かし、教科書の内容を参考に、不定詞などの言語材料を使って、英語で伝え合うことができる内容である。

生徒たちは昨年度2回、学級でのスピーチ発表を経験している。人前で話す際のデリバリーのポイント(アイコンタクト・声の大きさ・表情やジェスチャーで相手の理解を促す)を理解しているものの、英語の強勢、イントネーション、区切りなど基本的な英語の音声の特徴をとらえ、正しく発音することへの意識が不十分になりがちである。

本単元におけるパフォーマンス課題である「夢の実現宣言」の発表の際は、英語の技能とデリバリーの両方を意識させて「聞き手に伝わるスピーチ」をさせたい。

## 【生徒の主体的な学びを促すポイント】

- スピーチ原稿はモデル文をベースにして、自分の体験や夢について書き、オリジナルの内容にする。ただし、自分の言いたいことを必要に応じて増やすことができる。
- 前回、自分が行ったスピーチのビデオ映像を見ることで、自らの課題を発見させ、目標設定の参考とさせる。  
(例) 前回のスピーチでは緊張して表情が暗かったので、今回は笑顔で発表する。
- スピーチ発表の評価指標(ルーブリック)を知ることで、自分の目標を明確に持たせ、それをめざして練習させる。

## 【基礎・基本の定着】

## (1) 習得すべき基礎・基本について

- to 不定詞の3つの用法(名詞的用法、副詞的用法、形容詞的用法)の意味、形の理解
- テーマに沿った英作文を書く力
- 「r」「l」「th」「v」「f」「er」など、日本語にはない発音やイントネーションを意識した音読

## (2) 定着への手立て

- 授業中のパターンプラクティスと家庭学習において繰り返し練習させる。
- 授業開始時の「帯学習」でインプット

- ミニ読解で、モデル文を複数読ませ、参考にさせる。
- 発音とイントネーションを意識した音読練習をさせ、教師がチェックする。

## 5 単元の目標

- to 不定詞の3つの用法の意味、形を理解する。
- to 不定詞を含む英文を使って積極的に対話したり、自分の意見を伝えたりしようとする。
- 職場体験の内容や学んだこと、将来の夢について英文で書き、デリバリーを意識して、聞き手に伝わるスピーチをする。
- to 不定詞の3つ用法を含む英文が使われた長文の内容を理解する。

## 6 単元の評価規準

ア コミュニケーションへの関心・意欲・態度	イ 外国語表現の能力	ウ 外国語理解の能力	エ 言語や文化についての知識・理解
① 間違いを恐れず、積極的にコミュニケーションをとろうとしている。 ② 既習事項や辞書等を活用して、積極的に英文を書こうとしている。	① 既習事項を用いて、目的に応じて書くことができる。 ② 書かれた内容が伝わる音読・スピーチができる。	① まとまった量の英文を読んで、内容を理解できる。 ② 自然な速さで話される英文の内容を理解できる。	① to 不定詞の3つの用法の意味、形を理解している。

## 7 本単元を通して伸ばしたい資質・能力

※塩町中学校区では、小中9年間で身に付けさせたい9つの能力を定めている。

塩町中学校区9能力					
① 情報活用能力 (調べてまとめる力)		④判断力 (自分で決める力)		⑦体力・継続力 (ねばり強くやりきる力)	
② 発見力 (見つける力)		⑤表現力 (伝える力)	◎	⑧人間関係形成能力 (人とかかわる力)	
③ 思考力 (考える力)		⑥将来設計能力 (なりたい自分を描く力)	○	⑨生活力 (学んだ事を生かす力)	

- ⑤ 表現力 ……相手に伝えることを意識した発表ができる。
- ⑥ 将来設計能力 ……夢を実現するために自分に必要な力を考え、そのために何ができるか考え、表現できる。

## 8 指導と評価の計画 (全13時間)

次	学習内容 (時数)	評 価				
		関	表	理	知	評価規準 (評価方法)
1	<b>帯</b> Q&A ○ to 不定詞「名詞的用法」の意味、形を理解する。 ○ want / like to～を用いた英文のパターンプラクティスをして自己表現文を作る。 ○ 「want to～」を使った疑問文を作り、仲間と会話する。 (1)	○				ア① (活動の様子)

2	<b>帯</b> Q&A ○ 教科書本文の内容をQ&Aをしながら確認する。 ○ 自分の体験を基に教科書の会話文をアレンジし、自分の夢と、それが実現した際にやりたいことを書く。 (1)		○				イ① (ワークシート)						
3	<b>帯</b> Q&A・ミニ読解 ○ to不定詞の「副詞的用法」の意味、形を理解する。 ○ パターンプラクティスで使い方を習得する。 ○ to不定詞を用いて英作文を書く。 (1)	○					ア② (ノート)						
4	<b>帯</b> ミニ読解・Q&A ○ 教科書のモデル文を参考にペアでオリジナル対話文を完成させる。 ○ ペアで対話を練習し、発表する。 (1)	○	◎				ア① (活動の様子) イ② (発表の様子)						
5	<b>帯</b> ・単語のインプット・Q&A ○ to不定詞の「形容詞的用法」の意味、形を理解する。 ○ Do you have anything to～?の形でパターンプラクティスをし、対話活動をする。 (1)	○					ア① (活動の様子)						
6	<b>帯</b> 単語のインプット・Q&A ○ 新出単語の意味と発音を練習する。 ○ CDを聞いて、内容理解の確認をする。 ○ 発音とイントネーションを意識して個人で音読練習をし、教師の音読チェックを受ける。 (1)		○				イ② 音読チェック						
7	<b>帯</b> ・Q&A ○パフォーマンス課題を知る。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p><b>Dreams Come True ～夢を実現するために～</b></p> <p>What is your future dream? Please tell us about it.  将来、自分が就きたい仕事、やりたいことが描けていますか？どんな大きな夢も実現できるかどうかはあなた次第です。職場体験で学んだ事も振り返りながら、夢の実現のためにがんばることを仲間に宣言しよう。</p> </div> ○「書く力」の評価指標を知る。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>評価指標 (ルーブリック)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 5%; text-align: center;">A</td> <td>・Bができています。 ・オリジナル文を2文以上付け加え、さらに詳しい内容が書けている。</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">B</td> <td>・「to不定詞」の3つの表現を使って正しく表現できている。 ・モデルを参考に7～8文程度の英文が自分の力で書ける。(辞書を使ってもOK)</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">C</td> <td>・Bに達しない。</td> </tr> </table> </div> ○My Project⑤のモデル文を読み、構成や自分のスピーチに効果的な表現を知る。 ○モデルを参考に、ワークシートに原稿を書く。 (1) (完成した原稿は提出し、JTE, ALTのチェックを受ける。)	A	・Bができています。 ・オリジナル文を2文以上付け加え、さらに詳しい内容が書けている。	B	・「to不定詞」の3つの表現を使って正しく表現できている。 ・モデルを参考に7～8文程度の英文が自分の力で書ける。(辞書を使ってもOK)	C	・Bに達しない。	○	◎		○		ア②, イ① エ① (スピーチ原稿)
A	・Bができています。 ・オリジナル文を2文以上付け加え、さらに詳しい内容が書けている。												
B	・「to不定詞」の3つの表現を使って正しく表現できている。 ・モデルを参考に7～8文程度の英文が自分の力で書ける。(辞書を使ってもOK)												
C	・Bに達しない。												

8	<input type="checkbox"/> スピーチ原稿の清書をする。 <input type="checkbox"/> 「話す力」の評価指標を知る。										
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>評価指標 (ループリック)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 5%; text-align: center;">A</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・Bができています。</li> <li>・話すスピードや適切な間、ジェスチャーなど、聞き手を意識した工夫ができています。</li> <li>・相手の話を聞いて、英語で質問や意見を言うことができる。</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">B</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「良いスピーチ」のポイントを意識してスピーチができる。 (原稿は4~5回見てもOK)</li> <li>・うなずきや相づちをうちながら聞くことができる。</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">C</td> <td>Bに達しない。</td> </tr> </table> </div>						A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・Bができています。</li> <li>・話すスピードや適切な間、ジェスチャーなど、聞き手を意識した工夫ができています。</li> <li>・相手の話を聞いて、英語で質問や意見を言うことができる。</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「良いスピーチ」のポイントを意識してスピーチができる。 (原稿は4~5回見てもOK)</li> <li>・うなずきや相づちをうちながら聞くことができる。</li> </ul>	C
A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・Bができています。</li> <li>・話すスピードや適切な間、ジェスチャーなど、聞き手を意識した工夫ができています。</li> <li>・相手の話を聞いて、英語で質問や意見を言うことができる。</li> </ul>										
B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「良いスピーチ」のポイントを意識してスピーチができる。 (原稿は4~5回見てもOK)</li> <li>・うなずきや相づちをうちながら聞くことができる。</li> </ul>										
C	Bに達しない。										
	<input type="checkbox"/> 前回のスピーチのビデオ映像を見て、自分の課題を発見した後、練習を始める。(1)	◎				ア① (活動の様子)					
9	<b>帯</b> ・Q&A <input type="checkbox"/> 原稿から目を離して読めるように音読練習をする。 <input type="checkbox"/> 個人、ペアで練習する。 <input type="checkbox"/> グループ内発表を行う。 <input type="checkbox"/> 聞き手は質問をしたり、感想を伝えたりする。本時(1)	◎				ア① (活動の様子)					
10	<input type="checkbox"/> 最終確認をして、発表の準備をする。 <input type="checkbox"/> 発表をする。 <input type="checkbox"/> 聞き手から、質問したり、感想を伝えたりする。(2)		◎			イ② (発表の様子)					
後日	中間テスト <input type="checkbox"/> リスニングテスト <input type="checkbox"/> 長文読解 <input type="checkbox"/> 会話テスト	○		◎	◎	ウ①② エ① ア① (テスト)					

## 9 本時の展開

### (1) 本時の目標

- ・自分の夢について、内容が伝わるように話すことができる。
- ・相手のスピーチを、関心をもって聞くことができる。

### (2) 観点別評価規準

ア① 間違いを恐れず、積極的にコミュニケーションをとっている。

### (3) 準備物

ワークシート、シール、「良いスピーチのポイント」カード、タブレット

### (4) 学習の展開

時間	学習活動	主な発問・指示 (○) 予想される生徒の反応 (☆) 「C」と判断される生徒への手だて (◆) 指導上の留意点 (●)	評価規準 (評価方法)
導入 10分	<input type="checkbox"/> あいさつをする。 <input type="checkbox"/> 英語の歌を歌う。 <input type="checkbox"/> インプット	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 日直に日付、曜日、天気、時間等を英語で確認させる。</li> <li>● 生徒と一緒に元気に歌う。</li> <li>◆ ヒントを与えて答えにつなげさせる。</li> </ul>	
	<input type="checkbox"/> 本時の目標を知る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>● JTE: 本時のねらいを確認しよう。</li> </ul> <div style="border: 3px double black; padding: 5px; text-align: center; margin-top: 10px;">           I can be a good speaker and a good listener.         </div>	

展開 35分	○今日の評価指標を知る。	○JTE：黒板に今日のルーブリックを確認しよう。						
	<p>評価指標（ルーブリック）</p> <table border="1" data-bbox="277 293 1342 546"> <tr> <td data-bbox="277 293 331 394">A</td> <td data-bbox="331 293 1342 394"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・Bができる。</li> <li>・原稿はほとんど見ずに話せる。</li> <li>・相手の話を聞いて、英語で質問やコメントをしようとしている。</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="277 394 331 495">B</td> <td data-bbox="331 394 1342 495"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「良いスピーチのポイント」を意識してスピーチができる。</li> <li>・話す順序を確認する程度なら原稿を見てもOK。</li> <li>・うなずきや相槌をうちながら話が聞ける。</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="277 495 331 546">C</td> <td data-bbox="331 495 1342 546">Bに達しない。</td> </tr> </table>			A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・Bができる。</li> <li>・原稿はほとんど見ずに話せる。</li> <li>・相手の話を聞いて、英語で質問やコメントをしようとしている。</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「良いスピーチのポイント」を意識してスピーチができる。</li> <li>・話す順序を確認する程度なら原稿を見てもOK。</li> <li>・うなずきや相槌をうちながら話が聞ける。</li> </ul>	C
A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・Bができる。</li> <li>・原稿はほとんど見ずに話せる。</li> <li>・相手の話を聞いて、英語で質問やコメントをしようとしている。</li> </ul>							
B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「良いスピーチのポイント」を意識してスピーチができる。</li> <li>・話す順序を確認する程度なら原稿を見てもOK。</li> <li>・うなずきや相槌をうちながら話が聞ける。</li> </ul>							
C	Bに達しない。							
	<p>○ALT のスピーチを聞いて、良いスピーチのポイントを確認する。</p> <p>○良い聞き手の態度を考える。</p> <p>○個人で音読練習する。</p> <p>○ペアで暗唱をチェックし合う。</p> <p>○グループになって発表し合う。</p> <p>○感想を伝えたり、疑問に思ったことを質問したりする。</p> <p>○聞き手の意見やビデオ映像から、新たな課題を発見する。</p>	<p>○JTE:マイケルさんのスピーチは、どんな点が良かったかな？</p> <p>☆英語らしい発音とイントネーション ☆アイコンタクト ☆笑顔 ☆クリアな声 ☆ジェスチャー</p> <p>○ALT:良い聞き手の態度は？</p> <p>☆うなずき ☆リアクション ☆笑顔 ☆質問</p> <p>○JTE:自分の目標を設定して、練習しよう。</p> <p>◆机間指導をして発音やイントネーションについてアドバイスをする。</p> <p>○JTE:ペアで暗唱をチェックし合おう。</p> <p>○JTE:グループのメンバーにスピーチを聞いてもらおう。</p> <p>●聞き手には、「良い聞き手のポイント」を意識させ、また、質問を考えながら聞くよう指導する。</p> <p>●JTE:必要なら、グループの一人にタブレットを使って録画をさせる。</p> <p>●JTE:できるだけ英語で感想を伝えるよう指示する。</p> <p>◆ワークシートにあるコメントの例を参考にさせる。 ☆Your voice was clear. ☆Your smile was good. ☆I think your speech is very interesting.</p> <p>● ALT:英語でコメントできるよう支援する。</p> <p>◆ JTE:質問や応答は日本語でもよいことを伝える。</p> <p>○ JTE:仲間からのアドバイスや自分のビデオ映像から見つけた課題を次のスピーチに生かそう。</p>	<p>ア① 間違いを恐れず、積極的にコミュニケーションをとろうとしている。 (行動観察)</p>					
まとめ 5分	<p>○授業を振り返る。</p> <p>○次時の確認をする。</p>	<p>●今日のルーブリックに従い、A、B評価と具体的に頑張ったことや課題等を書くよう指示する。</p> <p>☆全文覚えて言えた。次はアイコンタクトを意識する。</p> <p>☆まだ暗記が不十分なので、本番までには覚える。</p> <p>☆表情が暗かったので、次は笑顔で話す。</p> <p>○ALT：良かった点やアドバイスを伝える。</p>						